

ISO 9001 及び ISO 14001 移行に関する認証機関への重要な情報

ISO 9001 及び ISO 14001 に関する 3 年の移行期間が最終年に入るのに伴い、IAF（適合性評価の実施に関する原則と実務を策定する世界的団体）は、適合性評価機関は 2018 年 3 月 15 日以降に行う全ての ISO 9001 及び ISO 14001 の初回、サーベイランス、及び再認証の審査を最新版である ISO 9001:2015 及び ISO 14001:2015 で実施しなければならない、との[決議](#)を可決しました。

この決議は IAF 及びその認定機関メンバー並びに IAF の利害関係者メンバー及び認定を受けた適合性評価機関による継続的取り組みとして、世界をリードするマネジメントシステム規格を最新版にアップグレードするよう促すものです。

ISO 9001 及び ISO 14001 の最新版への移行を必要とする組織はできるだけ早く、それぞれの適合性評価機関と連絡を取り審査を手配することが望まれます。移行に関するより詳しい情報は次のサイトを参照してください：ISO 9001 は[こちら](#)、ISO 14001 は[こちら](#)です。

移行期限を 1 年後に控えた 2017 年 9 月 15 日の [ISO/IAF 共同コミュニケ](#)で述べましたように、ISO 9001 及び ISO 14001 の最新版はどちらも旧版からより論理的になり、現在及び将来にわたり主要な問題に対処する規格となっております。新 ISO 9001 によってマネジメントシステムへのリーダーシップの関与が強化され、リスクに基づく考え方が取り入れられ、品質マネジメントシステムの方針と目標が組織の戦略と合致するようになります。一方、ISO 14001 における変更によって、環境パフォーマンス、ライフサイクル思考、組織の環境面でのリーダーシップを改善することによる環境の保全など主要な問題に焦点が当たります。

2015 年版規格に基づく認証を期限までに取得できない場合には取得済みの認証が失効し、あらゆる市場に対する供給者としての能力に影響を及ぼす可能性があるためご注意ください。

(署名) 肖建華 (Xiao Jianhua)

IAF（国際認定フォーラム）議長

www.iaf.nu